

# 受章おめでとうございます

秋の叙勲の2人の受章者とその他の各表彰者を紹介します。

## 旭日小綬章

福村 邦廣くにひろさん

(今福・北東1、70)



昭和54年5月に松浦市議会議員に初当選以来、平成17年12月まで7期26年の永きにわたり、卓抜なる識見と豊富な経験をもって地方自治の発展に貢献されました。

平成15年5月から17年12月までの間、松浦市議会議長に就任し、合併を控え審議が山積する中、議会の円滑な運営に尽力されました。特に、合併の枠組みをはじめ、新市における議員定数、議員報酬などの問題については、市の将来を見据えた上で議論を尽くすべきだと訴え、福島町および鷹島町との合併を積極的に推進するとともに、議員定数20名および議員報酬の削減を先頭に立って進言されました。

## 瑞宝単光章

志水 房之助ふみのすけさん

(福島・播磨釜、72)



昭和33年1月に福島町消防団に入団以来約37年間、旺盛なる責任感を発揮して消防の任務遂行にまい進されました。

昭和55年に部長に就任され、昭和57年には分団長に昇進。昭和58年には副団長に就任されました。若手団員の指導育成に力を注ぎ、持てる力量を十分に発揮されその職責を完遂されました。

また、昭和57年7月23日の長崎大水害時、福島町でも記録的な降雨量となった際には、分団長として昼夜警戒体制をとる一方、管内を巡回し、自ら土砂の撤去にあたるなど災害の処理に努められました。

## 長崎県保健環境連合会 会長表彰

調川町七区ノ二自治会



健康で明るい住みよいまちづくりを目標に地域住民が一体となって、まちの清掃活動やリサイクル活動、花いっぱい運動など美しいまちづくりに努力されています。

また、調川川の浄化活動や水辺公園・水仙ロードの整備など、環境整備にも積極的に取り組まれています。

## 市スポーツ賞表彰

「松浦市スポーツ賞」「松浦市社会教育優良団体賞」「松浦市体育協会体育功労賞」の表彰式が11月10日、市役所市民ホールで開催され、次の方々が受賞されました(敬称略)。

〔松浦市スポーツ賞〕

水泳競技 太田 快陸

空手道競技 川中 颯

空手道競技 山内 健太郎

〔松浦市社会教育優良団体賞〕

御厨ヘイスターズ

〔松浦市体育協会体育功労賞〕

〈団体の部〉

鷹島少年剣道クラブ

〈個人の部〉

松浦市ゲートボール協会 久保川 満

松浦市陸上競技協会 梶島 博

松浦市陸上競技協会 片山 雅利

松浦市ソフトテニス連盟 三浦由美子





市では、「定住促進」や「交流人口拡大」などで市がさらに元気になるさまざまな取り組みを行っています。このコーナーでは、市が計画または実施しているその取り組みの中からピックアップして紹介します。

取り上げた事業の中で不明な点や、取り上げてほしい事業などがありましたら総務課秘書広報係か担当課までお尋ねください。

## 行政改革の取り組み状況を

## お知らせします

### 今回紹介する取り組み

現在市では、平成18年度に策定した行政改革大綱および実施計画に基づき、22年度までを実施期間とする行政改革に取り組んでいます。23年度には収支均衡した柔軟で安定した財政構造を確立するとともに、新たな政策のための資金として10億円の創出を目指しています。

今月の市政ピックアップでは、平成20年度の主な取り組みの概要をお知らせします。

### 普通会計および地方公営企業等の実施状況

実施計画では、122項目の計画を掲げ、平成20年度までに95%に当たる116項目について、実施または検討を進めました。

行政改革の効果を明確にするために、平成17年度決算などを基準とした目標効果額を設定しており、平成22年度の目標効果額16億1,183万円に対して、平成20年度までに112%18億1,212万円と、目標を上回る効果額を達成しています。

### 行政改革の主な取り組み

#### ○組織機構の見直し

平成20年5月7日、34課を27課に削減する組織機構の見直しを実施し、更に本年4月1日からは、水道課と下水道課を統合して、上下水道課を設置しました。

また、調川支所を調川出張所に、上志佐支所を上志佐出張所に、上志佐コミュニティセンターを上志佐公民館にそれぞれ変更しました。

#### ○事務事業の見直し

行政事務の迅速化、効率化を図るために、行政評価制度の導入を本方針を策定しました。

平成21年度は、一部試行を予定しています。

#### ○定員管理の適正化

職員数を、平成22年度末までに合併時の職員数の10%に相当する45人を削減する目標を進めています。

平成18年度8人、平成19年度19人、平成20年度17人累計44人を削減しました。【表1】

【表1】職員数の削減（全会計）

	職員数	削減数
18年度当初	442人	0人
22年度末目標	397人	△45人
21年度当初	398人	△44人

#### ○歳出の削減

平成20年度の当初予算では、人件費、扶助費、投資的経費などを除く経常的な経費は、原則、対前年度比80%を枠として予算編成しました。

また、過去に高金利で借り入れた市債の繰り上げ償還を実施したことにより、公債費を3億1,877万円を削減しました。

○問合せ先 企画財政課